

職種選択ⅠA(メディアの接し方)

科目ナンバリング CAE-102

選択 2単位

森 吉弘

1. 授業の概要(ねらい)

情報の気づきや解釈は、あなたのキャリアを創る基礎となります。視点の位置や方向性(視座)や考え方(解釈や意味づけ)によって、あなたの目の前に広がる世界は、絶望的になったり、希望がもてたりと瞬時に変わります。その事実や事象は、あなた次第で、姿を変えます。また、気づくことで、知識や思考も豊かになり、価値観の幅も広がります。

自分も含めて、どんなモノも情報を受発信しているメディアです(スマホやテレビだけがメディアではありません)。そのメディアとどう接していくか、メディアからの情報をどう受け止めるのか、視座の持ち方や考え方などを中心に学んでいきます。NHKのアナウンサー(15年間)として情報に接した視点(作り手側)からの解説も加えます。授業中に時事問題も取り上げていき、時代感覚も身につけてもらいます。時事問題もその都度取り入れていくので、カリキュラムの若干の変更があることは承知してください。

【関連科目】

「社会人基礎力養成演習」

「新聞の読み方・使い方」

2. 授業の到達目標

- ①社会で活躍するための基礎力が身につきます
- ②モノの見方が2軸以上(複眼的)になります
- ③就活に必要な書く力や考える力が身につきます
- ④自己の特性が理解できます
- ⑤情報に対するセンサーが高まります

3. 成績評価の方法および基準

- (1)授業に取り組む姿勢 30%
- (2)授業内外の課題リポート 40%
- (3)グループワークへの貢献度 30%

4. 教科書・参考文献

教科書

森吉弘著 『アジアの若者が日本企業に就職するために「思考とスキル」』 ウイネット

5. 準備学習の内容

以下のような事前学習課題を課します。日々の学習を怠ると、講義の内容を深めることはできませんし、成果を上げることが難しくなります。

- ・教科書や講義に関連した書籍の読み込み
- ・全国紙(読朝毎、日経、産経、東京)のいずれか1紙を毎日10分以上読むこと(読み慣れたら時間を伸ばしていく)
- ・授業内容の復習はもちろんのこと、学んだことを日々意識して行動(思考も)すること

6. その他履修上の注意事項

就職活動や社会人になってからも役立つ教養やスキル、習慣を身につけてもらいたいと考えています。グループワークもあるので、主体的に取り組む学生を望みます。また、授業を効率的に進めるため学生の協力も得ることが多々あります。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
1)キャリアの形成に、なぜ「メディアの接し方」は必要か
2)ニュースとは何か
3)スマホのニュースと新聞の記事の違い
4)言葉は思考を作り、行動を作る
- 【第2回】 メディアとは何か?
1)マス・コミュニケーションについて学ぶ
2)その他メディアについて理解する
- 【第3回】 ジャーナリズムの特質とメディア・リテラシー
1)メディアリテラシーとは何か
2)メディアリテラシーはなぜ必要か
3)ジャーナリズムとは
4)日本においてジャーナリズムは存在するのか
- 【第4回】 メディアの特徴とメリット・デメリットを考える①
1)テレビ、ラジオ、新聞、ネットの特徴を知る(グループワーク)
2)新聞の読み方を知る
- 【第5回】 メディアの特徴とメリット・デメリットを考える②
1)メディアの特徴をグループで発表する(グループ・全体ワーク)
2)各メディアの特徴をまとめる
- 【第6回】 各メディアの特性をどう活かすか
1)自分流の使い方を考える
2)スマホの活用法
- 【第7回】 「関心があること・ないこと」を考える
1)カラーバス効果(意識すると関連情報を集める)とは
2)自分の癖(習性)を見つける
- 【第8回】 モノの見方(二軸思考)
1)与えられたテーマで見つけたものを共有する(全体ワーク)
2)複眼思考を学ぶ

- 【第9回】 人は見たいものを見て、聞きたいことだけを聞く
1)ハイズマンの研究から学ぶ
2)意識の持ち方でモノの見方が変わる
3)セレンティビティーを学ぶ
- 【第10回】 見えないモノについて考える①
1)日本のサービスの特性を考える
- 【第11回】 見えないモノについて考える②
1)グループで発表
2)自分の視点を再考する
- 【第12回】 広告を活用する①
1)広告を知り、その言葉から時代を読み取る
- 【第13回】 広告を活用する②
1)どんな言葉が目に残りましたか(グループワーク)
2)広告の言葉とは
- 【第14回】 どんな気づきがありましたか
1)自分の成長を確認する
- 【第15回】 まとめ
1)メディアとの接し方を改めて考える(自分に問う)